

土木学会誌第 42 巻および論文集（昭和 32 年度）総目次

上
112
022

土木学会誌

会長講演

技術の意義について……………会長 平山復二郎… 7 1

特別講演

北海道総合開発について……………正員 工博 大坪喜久太郎… 7 7

北海道の古代史……………更科源藏… 7 11

講演

改訂コンクリート標準示方書について……………正員 工博 吉田徳次郎… 1 1

日本水利科学訪中代表団視察報告

中国の治水事業について……………名誉員 谷口三郎… 3 1

中国の水文学について……………正員 理博 速水頌一郎… 3 3

中国の水利事業について……………正員 伊藤剛… 3 5

中国のかんがい排水事業……………正員 小柳彌… 3 8

中国の水力開発について……………正員 市浦繁… 3 10

海外建設事情講演会

南米ハレーの鉄道調査にゆきて……………正員 飯吉精一…12 1

中近東への日本技術の進出について……………正員 工博 鈴木雅次…12 3

欧州新見……………正員 工博 鮫島茂…12 5

アメリカを視察して……………正員 平山復二郎…12 7

報告

滲透性地盤上に築造した相模原貯水池……………正員 井深功… 1 5

斜め格子桁橋の曲げモーメントの計算法……………准員 岡尚平… 1 15

第5回国際橋梁・構造会議視察報告

欧米の吊橋について……………正員 工博 平井敦… 1 21

フランスおよびスペインの橋梁……………正員 工博 安宅勝… 1 21

欧米の橋梁雑感……………正員 工博 小西一郎… 1 22

欧州におけるコンクリートおよびプレストレストコンクリートについて……………正員 工博 横道英雄… 1 22

国立土木研究所その他について……………正員 三浦文次郎… 1 23

代糸橋の設計および制作について……………正員 正員 正員 正員 田池松伊 原田保哲 保哲 二夫巖一 2 1

河道の洪水調節計算法……………正員 工博 藤芳義男… 2 11

サント設定についての一考察……………正員 牧野茂樹… 2 15

合式トラス橋の実測的研究……………正員 工博 福田武雄 久保慶三 3 13

代糸橋の模型実験について……………正員 正員 正員 正員 田池松伊 原田保哲 保哲 二夫巖一 3 21

河道の設計について——流砂量の観点からみた——……………正員 工博 佐藤清一… 4 1

神戸港における船台築造工事並びに締切工事について……………正員 桂川輝長… 4 9

道路築造工法に関する最近の調査研究とその応用……………正員 工博 谷藤正三… 5 1

ホンマ系のウオーターハンマーとその対策……………正員 金野仁… 5 11

衝撃による地盤支持力の測定について……………正員 浅井新一郎… 5 17

上水道配水管路の設計上の諸問題……………正員 工博 扇田彦一… 6 1

地盤工学……………正員 工博 岡本舜三… 7 17

			号	頁
ゲート重量推定に関する一考察……………	正員 正員	西 今	沢 治… 7	29
吹米における長大橋梁の基礎工法について……………	正員	宮 沢	吉 弘… 8	1
森の宮橋（鋼床版桁橋）の実験について……………	正員 正員 正員	橋小近 松 藤	善定和靖 雄夫… 8	7
波止浜海岸，地盤変動対策事業の概要について……………	正員	角 川	坂口 仁正 忠 彌… 9	1
井川ダムにおける寒中コンクリート施工について……………	正員 正員	和 丹	久羽 英哲 雄 郎… 10	1
粘性土におけるコーンの貫入抵抗と一軸圧縮強度との関係……………	正員	室 町	忠 彦… 10	7
都市形態と都市構成の理論とその応用……………	正員	山 田	正 男… 11	1
重コンクリートについて……………	正員	石 川	六 郎… 11	7
コンクリートの品質管理のための無破壊試験の利用について……………	正員	水 野	俊 一… 12	11
城ヶ島橋梁の計画——主として箱桁の設計について——……………	正員 正員 正員	能 上 関 野	登前野 尚行昌 丈 次… 12	19
光弾性実験法とその土木工学への応用……………	正員	工博 丹	羽 義 次… 12	27
高島海底送水管布設工事について……………	正員	中 山	敏 雄… 12	35
解 説				
コウ水の到達速度に関するいわゆる Rziha の公式と Kraven の表の由来について……………	正員	井 口	昌 平… 1	25
土質工学序説……………	正員	工博 最	上 武 雄… 4	19
合成桁について……………	正員	田 原	保 二… 6	11
コンクリートの品質管理のための管理図の使い方……………	正員	水 野	俊 一… 7	39
計算機の能率的な使い方……………	正員	工博 谷	本 勉 之助… 8	13
計数型継電器式電気計算機と応用力学問題への応用……………	正員	工博 成	松 岡 昌 夫 勉 夫… 9	9
技術士法の要点……………	正員	松 井	達 夫… 9	16
寄 書				
中近東の建設事情……………	正員	吉 田	越 次… 4	25
土木責任論……………	正員	工博 鈴	木 雅 次… 6	25
昭和 32 年建設機械展示会を見て……………	正員	加 藤	三 重 次… 6	29
台湾におけるプレストレスト コンクリートの現況……………	正員 正員	藤 宮	亀 大 郎 成 義… 9	21
谷口さんを憶う……………	正員	工博 米	田 正 文… 9	26
谷口三郎先生の思い出……………	正員	田 淵	寿 郎… 9	27
佐土原 勲君のこと……………	正員	安 東	功… 9	28
佐土原さんを悼みて……………	正員	信 沢	貞 治… 9	29
橋梁の高欄について……………	正員	尾 崎	義 一… 10	13
南極大陸に立ちて——昭和基地建設記——……………	正員	清 水	賢 二… 10	21
プレストレスト コンクリート国際会議に出席して……………	正員	平 山	復 二 郎… 11	13
西ドイツの道路事情について……………	准員	岩 間	滋… 11	16
南極における空中写真の利用……………	正員	鍛 冶	晃 三… 12	43
資 料				
吹米の吊橋に関する資料……………	正員	工博 平	井 敦… 1	29
ランガー橋不静定力の近似計算法——主としてランガー桁について——……………	准員	成 瀬	輝 男… 2	21
国際住宅および都市計画会議……………	正員 正員	五 十	嵐 醇 三 部 与 四 郎… 5	23
吹米の高速自動車道路の維持について（1）—米国および英国—……………	正員	藤 森	謙 一… 5	27
吹米の高速自動車道路の維持について（2）—フランス・イタリア・西ドイツ—……………	正員	藤 森	謙 一… 6	17

	号	頁
独立 P C バリの高さについて……………	正員	木村 又左衛門… 6 23
鉄道管理とオートメーション……………	正員	商博 石 田 武 雄… 7 49
エカフェ道路安全セミナー……………	正員	工博 星 埜 和 … 7 51
黄河三門峽ダムの設計概要……………	編 集 部	… 8 19
工業教育に望む……………	編 集 部	… 9 31
武漢長江大橋建設工事について……………	編 集 部	…10 25
▼ 斜め単純版の設計について……………	編 集 部	…11 19
日本道路会議について……………	正員	富 樫 凱 一…12 49

講 座

基礎工 [Ⅲ]—3. 基礎工破壊の原因……………	正員	高 木 進… 1 33
基礎工 [Ⅳ]—4. 杭基礎 (1)……………	正員	白 石 俊 多… 2 25
基礎工 [Ⅴ]—4. 杭基礎 (2)……………	正員	白 石 俊 多… 3 31
溶 接 [Ⅰ]—鋼橋の溶接 (1)……………	正員	田 中 五 郎… 4 31
溶 接 [Ⅱ]—鋼橋の溶接 (2)……………	正員	田 中 五 郎… 5 33
溶 接 [Ⅲ]—鋼橋の溶接 (3)……………	正員	田 中 五 郎… 6 31
溶 接 [Ⅳ]—ガス圧接法による鉄筋の接合……………	正員	稲 積 豊 二 大 井 一 郎… 7 53
地下水 [Ⅰ]—地下水の計算について……………	正員	工博 本 間 仁… 8 23
地下水 [Ⅱ]—地下水調査……………	正員	近 藤 利 八 丸 山 文 行… 9 33
地下水 [Ⅲ]—トンネルと地下水……………	正員	広 田 孝 一…10 27
建設機械の償却について……………	正員	工博 中 岡 二 郎…11 23
寒地におけるコンクリート [1]……………	正員	工博 横 道 英 雄…12 53

文 献 抄 録

	号	頁		号	頁
地下水位の予報……………	1	38	ソ連における無継目レールの現況……………	6	43
コンクリートの耐凍性について……………	1	39	カナダの新都市……………	6	44
ペルーおよびブラジルの新水力開発……………	1	41	アスファルト舗装混合の新しい分類方法……………	6	45
記録的な全溶接橋……………	1	42	ソ連におけるダム兼用型発電所について……………	7	61
イタリアのアーチダム……………	2	35	ポンド川における濁水流量予報……………	7	62
洪水波にともなう土砂濃度のおくれ……………	2	36	ドイツの高速自動車道路における交通 量、幾何学的設計と事故率との関係……………	7	64
Tampa 湾に跨る四車線橋の建設……………	2	37	A.C.I. のコンクリート舗装設計指針について……………	7	66
特殊型ワクによるコンクリート打設の スピード化……………	3	35	単径間鋼道路橋の振動……………	8	29
排水井系による堤防漏水対策工法の実例……………	3	36	揚水発電の経済性について……………	8	30
プレストレスト工法による老朽トラス橋の補強……………	3	37	基礎杭支持力の経験公式……………	8	32
最大支間 200 ft のコンクリート連続箱桁橋……………	4	36	中央分離帯幅員と事故との関係について……………	8	32
水路底より分流のある流れ……………	4	37	孤立波理論の浅海における振動波への 適用について……………	8	33
Rhône 河 La Voulte 鉄道橋の復旧……………	4	38	重要通過路線上の横断施設……………	9	39
米国州際道路網の構造規格……………	4	39	格子桁橋の設計……………	9	39
アメリカにおける深い橋脚基礎の新工法……………	4	39	世界最長の Mackinac 吊橋の近況……………	9	41
——特に大量生産の場合に適した——			まれに起るような大洪水の頻度の算定……………	9	42
高熱を受けたコンクリートの圧縮強度……………	5	37	高速自動車道路の設計と運用に関する考察……………	10	35
埋設管に生ずる応力……………	5	38	コワサ マトリックスによるトラスの解決……………	10	36
鋼材の塗装……………	5	39	三軸試験における粒状物質の体積変化……………	10	38
フランス国鉄 330 km/h 高速列車試験に おける軌道関係測定項目および使用計器……………	5	40	埋込みピンの引抜きによるコンクリート の硬化速度の測定……………	10	39
木材によるコンクリート杭の防護……………	5	41	オーストラリアにおける工業港の計画に ついて……………	11	31
橋梁工事をいかに計画すれば速かに 完成できるか……………	5	42			
特性曲線法による開水路不定流の計算……………	6	41			

	号 頁		号 頁
水圧鉄管の設計と施工.....	11 32	ヒステリシスを有する系のアナコン.....	12 64
ダム洪水吐減勢工の被害調査.....	11 34	ソイル セメントの失敗例?.....	12 64
スウェーデン固定コンクリート規則の水密性.....	11 35	貨車操車場のオート・メーション.....	12 66
試験標準方法		都市改造に関する実行可能な勧告.....	12 67
点雨量と面積雨量の相関.....	12 61		
実物大凍上試験.....	12 63		

土 木 学 会 論 文 集

		号 頁
河床における砂礫堆の形成について (別刷論文集)	正員 木 下 良 作.....	42
——蛇行実態の一観察——		
箱桁橋の立体的応力解析.....	正員 工博 小 西 一 郎.....	43 1
	正員 小 松 一 定 夫.....	43 11
任意に配置された数個の等径円孔を有する薄板の引張り.....	正員 岡 林 稔.....	43 23
道路橋の安全性に及ぼす自動車荷重の影響.....	正員 西 村 昭.....	43 29
越流頂余水吐きの数量係数について.....	正員 岩 崎 敏 夫.....	43 38
時系列論よりみたわが国水文諸量の性格について.....	准員 高 瀬 信 忠.....	43 43
洪水追跡器の実河川への適用について.....	正員 石 原 安 雄.....	43 48
土の圧縮指数に関する一考察.....	准員 西 田 義 親.....	43 53
粒体層の圧縮に関する一考察.....	正員 谷 本 喜 一.....	43 59
側方拘束土の振動締固めに関する実験的研究.....	正員 工博 村 山 朔 郎.....	43 1
	正員 谷 本 喜 一.....	43 8
	准員 村 山 朔 郎.....	43 13
二辺支持矩形板の近似解法について.....	正員 大 村 裕.....	44 1
マトリックスの Affin 標示及びその理論		
——構造力学に応用せる行列の性質について——	准員 島 田 静 雄.....	44 8
鉄より加えられる荷重によつて引張りをうける薄板の応力分布.....	正員 岡 林 稔.....	44 13
鋳鉄管の残留応力について.....	正員 薄 田 正 良.....	44 22
	准員 薄 田 正 良.....	44 28
アーチダムに働く地震時動水圧.....	准員 小 坪 清 真.....	44 38
突堤の耐震性に関する二、三の考察 ——震度分布について——	正員 工博 畑 中 元 弘.....	44 49
工事単価算定に関する一考察.....	正員 西 沢 井 治 毅.....	44 56
	正員 西 沢 井 治 毅.....	44 56
Method of Fast Conversion for Solving the Linear Simultaneous Equations with Principal Diagonal Coefficients	正員 工博 新 郷 高 一.....	44 56
支間 40m のプレストレスト コンクリート道路橋 (福島県		
七松川橋) の設計, 施工およびこれに関連して行つた実験研	正員 田 原 保 二.....	45
究の報告 (別刷論文集)	正員 猪 股 俊 司.....	45
	正員 猪 股 俊 司.....	45
コンクリートの水密性に関する研究 (I)		
——セメント分散剤がコンクリートの水密性に及ぼす影響——	正員 村 田 二 郎.....	46 1
コンクリートの加温乾燥のくりかえしによる残留変形について.....	正員 大 浜 文 彦.....	46 7
降伏荷重を受けるピントラスの非弾性挙動について.....	正員 西 村 昭.....	46 15
浮遊砂を有する水流の諸特性について.....	准員 志 村 博 康.....	46 22
アーチダムに働く動水圧の模型実験.....	准員 小 坪 清 真.....	46 30
円形立て坑の周囲における弾塑性応力状態.....	正員 伊 藤 富 雄.....	46 34
地下水位の地すべり移動速度に及ぼす影響について.....	正員 谷 口 敏 雄.....	46 39
駐車場計画における車荷の出入量強度の算定法と運営に関する		
基礎的考察	正員 毛 利 正 光.....	46 46
静荷重をうけた砂利層の諸性質について ——沈下の場合——	正員 最 上 幸 夫.....	46 52
吊橋の耐風安定性について.....	正員 工博 平 井 敦.....	47 1
行列による平面骨組構造の解法.....	正員 大 地 羊 三.....	47 7
対数正規分布とその積率による解法.....	正員 工博 石 原 藤 次 郎.....	47 18
	准員 高 瀬 信.....	47 18

			号	頁
対数正規分布に関する順序統計学的考察……………	准員	高 瀬 信 忠	47	24
道路トンネルの換気における一様分流管及び合流管の主管内静圧 ならびに分岐管開度計算法……………	正員	伊 吹 山 四 郎	47	30
不規則な地震動による動水圧……………	准員	小 坪 清 真	47	38
盛土内応力分布に関する研究……………	正員	赤 井 浩 一	47	46
分岐器が蒸気機関車より受ける横圧力……………	正員	工博 小 野 一 良	47	52
線型計画法による保線計画の理論とその適用について……………	正員 正員 准員	工博 小 林 藤 勇 工博 佐 佐 木 尚 綱	47	60
プレストレスト コンクリート スラブ式二ヒンジ ラーメン橋の設計法に関する研究 (別刷論文集)……………	正員	猪 股 俊 司	48	
プレストレスト コンクリート舗装に関する実験的研究……………	正員 正員 准員	工博 近 岡 武 坂 工博 藤 田 昭 夫 工博 田 村 清 彦 工博 毛 利 正 光	49	1 9
バスターミナルの計画運営の理論に関する研究……………	正員	工博 横 尾 義 貫 工博 石 崎 山 義 雄 工博 村 山 朔 郎 工博 赤 井 浩 一 工博 鈴 木 伸 彦	49	17 25
被圧地下水の揚水による帯水層常数の決定に関する二、三の考察……………	正員 正員 准員	工博 川 島 普	49	32
下水貯留濃縮槽の底部広配……………	正員	佐 藤 裕	49	42
連続弾性支持二重バリの点荷重による変形……………	正員	小 松 定 夫	49	50
箱桁橋の実用計算について……………	正員	井 上 広 胤	49	59
曲りバリ公式によるラーメン隅角部の応力計算……………	正員	関 慎 吾	50	
AE コンクリートにおける単位セメント量, 水セメント比 (w/c), 空気量の変化が圧縮強度, 強度増進, 水密性, 耐久性等におよぼ す影響の研究 (別刷論文集)……………	正員	工博 小 西 一 郎 工博 丹 羽 義 次 工博 川 本 桃 万	51	1
レール応力の光弾性学的研究……………	正員 正員 准員	工博 八 十 島 義 之 助	51	8
継目衝撃に関する研究……………	正員	松 梨 順 三 郎	51	16
限界掃流力付近の流砂に関する研究……………	正員	荒 木 正 夫	51	25
噴水式水叩の水理について……………	正員	工博 岩 垣 雄 一 工博 土 屋 義 人	51	34
雨水流による土砂の剝離と輸送について……………	正員 准員	鈴 木 俊 男	51	41
2-主桁並列型式の鋼床板橋の設計計算について ——鋼床板の有効幅に関する理論的研究——……………	正員	鳥 田 静 男	51	51
バネ支承で支持された連続桁の性質について (Affine 変換を利用せる不静定構造物の解法)……………	准員			